創刊大正11年
明治大学新聞
週刊
毎週 木曜日発行
定価 1部 10円
©明治大学新聞学会 1966
購読料 一年分（郵税共） 七百円 / 二年分（郵税共） 一五〇〇円
発行所 明治大学新聞学会
東京都（神田区）
千代田区神田駿河台（明大）
電話（代表）（291）（内線40）
振替口座（東京）七九八八八番

静かに学園ストライキ続く

教職員含め大衆団交

13日 学部長会などの勧告で

▲学費▼あるべき姿は一中だろう」と言葉つぎ一所懸命考えさせている。先月二十四日の和泉校舎のストライキ突入以来、早くも三週間を経過し、先人当間にもまた学生間にも疲労と無駄な見られてきた。ここに所から、この間を打開し、紛争収拾への方向づけ期待されていた大人日の間には、法人側の意向で十三日に延期された。これに伴って法人側の「十月末日」期限は

連絡本部は中央ビル

法人事務室、12ヶ所に分散

和泉・生田で事務が始まる

駿河台新校舎完成に伴い、法人事務室は来年2月一杯分散。

大学当局の連絡本部は神田駅ちかくとあり、ざっぱ駅寄ビル、クロサワビル・鈴木の各ビルが、駅前商店ビル、本学小川町校舎、本学校、明治商店、ラクビー部寮、神田三崎寮、第1・第2学生会館、中野校舎、和泉校舎、生田校舎、明大前校舎の連絡本部は和泉校舎、教務の新所は、教務部、学生部、学生課、学生部、学生課、学生部、学生課

支える常勝の伝統

―全日本15連覇に挑むスケート部パ―

ライバルは立教大・日大

いよいよインターカレッジ・スケート・スケートの季節。中でも本学スケート界の伝統を誇る明大スケート部は、昭和41年度の第三十五回全日本学生選手権大会に十四連覇の年は果たして成るか、そして本学スケーター達はどうなるか、ということで、今年の明大スケート部の展望を考えてみる。

本学スケーターは

大学史に拾う

明治法律学校創設の地

第四話　宮川　康

明治十四年一月二十日

[明治法律学校跡碑]

[明治法律学校跡碑・建設趣意書]

[明治法律学校跡碑・建設趣意書拡大]

[明治法律学校跡碑・建設趣意書拡大]

[明治法律学校跡碑・建設趣意書拡大